

学報

学校法人 北海学園

北海商科大学



Vol.07

2009.12.1

発行:北海商科大学
編集:北海商科大学広報委員会
〒062-8607
札幌市豊平区豊平6条6丁目10番
TEL:011-841-1161(代)
FAX:011-824-0801
http://www.hokkai.ac.jp
制作:(株)ラボット/エディアワークス

Hokkai School of Commerce Newsletter

主な記事

交換留学生が出発	2面
キャリアサポートと就職支援について	2面
短期留学生プログラムを実施	3面
外国語スピーチコンテストで好成绩	3面
フィールドワークで石屋製菓へ	3面
留学特集	4面・5面
ゼミ訪問、研究のいま	6面
APQ関係検定資格MCAS編、教職課程	7面
北海商科祭【フォトギャラリー】	7面
AED設置	8面
著者に聞く、ハイナス論集刊行	8面
行事予定、公開講座	8面

TOPICS 話題1

第4回北海商科祭開催

学生支援センター長
村越 雅雄 教授

9月26日、秋晴れの中、本学校舎およびグラウンドにおいて、北海商科祭が開催された。今回のテーマは「商科大作戦～First Impact～」。

過去3年のアジアをテーマとした大学祭の伝統を引き継ぎながらも、それを乗り越える「大作戦＝(グレートな企画)」を展開しようとする学生たちの意気込みが至るところで感じられる大学祭となった。

テントがグラウンドの周囲いっぱいに並べられ、韓国料理、中国料理、タコライス、豚丼、などの模擬店が、元気なかけ声で販売を競った。また同日、2年生父母説明会が学内で開かれており、父母たちも大学祭に参加し、学生たちが、熱心にサービスする姿が見られた。

メインイベントステージでは、北海商科祭恒例となった「YOSAKOIソーラン」の演舞が行われ、近隣の市民と子どもたちの「舞とよひら」を筆頭に、札幌学院大学などが次々と切れの良い、力強いパフォーマンスを披露した。次に、北海商科の学生が参加する学内イベントとして、「のど自慢大会」が行われた。

さらに夕方になって、EXPGの少年、少女たちが登場し、子どもとは思えないパワフルなパフォーマンスを見せた。最後のステージには、「くまだまさし」と「上海ドール」が登場した。くまだま

アジアの時代に、アジアを学ぶ。

2009北海商科祭開催！ 新たな意気込みを感じる、 熱気あふれ、楽しく、賑やかな大学祭に



2009年北海商科祭は、夜まで沢山の参加者で盛り上がった。

さしは、まさしく「First Impact」と題したTVのお笑いコンクール合格者であり、その、人を捉えて放さない話術と、奥さんが作成したと言われる小道具を使っの「お笑い芸」は、誠実そうな風貌も手伝って、会場を親密でアットホームな雰囲気包み込んだ。エンディングでは、抽選会が行われ、当選者(一等賞、Wii)が発表された。最後に実行委員長の中居裕作君が閉会の挨拶をし、大学祭の幕を下ろした。

途方もない後片付けを二時間ほどで済まし、実行委員たちが大学を後にしたのは、すでもう、夜の十時を過ぎる頃だった。

第4回北海商科祭パンフレットより 大学祭開催の挨拶

大学祭実行委員会 代表 中居 裕作

本日はお忙しい中本学大学祭にお越しいただき誠にありがとうございます。今年のテーマは「商科大作戦～First Impact～」です。平成18年に開学してから4年目を迎え、過去3回の大学祭は先輩方が創意・工夫を凝らした素晴らしい大学祭でした。さて今回の大学祭は、テーマに題したとおり本学学生、地域住民の来場者(子どもからお年寄りまで)や他大学生にインパクトを与えることのできる作戦(企画)を私達、実行委員と参加者が一丸となって企てていこうという意味です。そして第4回北海商科大学祭ですが『First』となった理由はライブイベント、ゲーム企画や模擬店などを昨年以上に充実させ過去に経験したこと

ない『Impact』のある大学祭にした。いとの思いからこのテーマができました。本学は他大学と比べ小規模ですが、小規模でできることや特性を活かし与えられたフィールドでどのように表現できるかが私達委員の課題です。だからこそ！皆様に北海商科大学を知って頂くために、是非楽しんで盛り上がり上げてハジけてください。大学祭は運営者、来場者共に楽しんで成功となると思います。何卒ご協力宜しくお願いします！最後に第4回北海商科大学祭開催にあたりご尽力頂きました関係者各位、そしてご来場者の皆様に心より感謝し、ご挨拶とさせていただきます。



第4回 北海商科祭イベント一覧

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| ● YOSAKOIソーラン2009in北海商科祭 | ● アーティストライブ ● EXPG |
| ● HARZION LIVE (軽音楽部ライブ) | ● お笑いライブ ● 上海ドール、くまだまさし |
| ● のど自慢 (本学一歌唱力があるのは誰だ!?) | ● 商科大抽選会 (抽選で豪華景品が当たる!!!) |
| ● 模擬店対抗ゲーム「1♂のコーラ」 | ● 駄菓子配布 |
| ● クイズ☆YES or NO | ● 写真展示ミリオンフィルム (北海商科大生の日常) |

TOPICS.. 話題2 2009年度交換留学生が出発

本年度の海外語学留学プログラムのもと、8月26日に韓国大田（テジョン）大学校への派遣学生、8月29日には中国山東大学威海分校と煙台大学への派遣学生が、本学教員の引率のもと、それぞれの大学に向けて出発しました。

本年度、韓国大田大学校には1年生6名（男2女4）が、中国山東大学威海分校には1年生17名（男13女4）、煙台大学には1年生15名（男10女5）が派遣されています。この他に、4年生1

名と3年生1名が大田大学校に、3年生1名が山東大学威海分校に、4年生2名と3年生1名が煙台大学に3月から1年間の予定で留学しています。また、中国国費留学生として、3年の中井龍君と堀内真希さんが、8月中旬に中国に出発しました。中井君は北京での研修後山東大学済南本校で、堀内さんは黒龍江大学で、2年間にわたる留学生生活を送る予定です。

懸念されているインフルエンザの問題については、韓国は到着後1週間検温を義務付け報告が、中国では学生寮にて注意喚起が行なわれ、両国共、発熱時には学生寮の管理部門に連絡し、指示に従うように指導を受けています。現在のところ新型インフルエンザの罹患は報告されていませんが、今後とも現地と連絡を取り合うことを大学間で確認しました。



中国へ出発する交換留学生

TOPICS.. 話題4 父母説明会が開かれる

北海商科大学としては初めての父母説明会が、5月30日（土）に3年次（60名参加）、9月26日（土）に2年次（48名参加）の父母の皆様を対象に開催されました。

父母説明会では、各センター長から本学の教育内容や国際交流、奨学金などの学生支援、就職支援への取り組みなどが説明されました。その後の質疑応答では、両日ともに就職対応に関する

ことを中心に数多くのご質問・ご意見をいただき、有意義な内容を提供できたのではと思います。また、参加者の皆様からのアンケートも内容的に概ね満足との結果をいただきました。一方で厳しいご意見、ご指摘もあり教職員一同真摯に受け止め、本学の教育改善に努めていきたいと思っています。

次年度もより充実した内容で開催いたしますのでご期待ください。

TOPICS.. 話題3 オープンキャンパス開催される

例年オープンキャンパスは年間3回の開催でしたが、今年度はご父母の方々のご都合を考慮して日曜日にも開催日を設けて4回実施しました。

第1回目は6月27日（土）に開催されました。全体説明会では、本学の学部と学科について入試広報センター長細野昌和准教授から、入試の全体に関する説明は渡辺聡事務長から行われました。次いで、個別相談会と語学の体験講義、学内見学が行われました。閉会時間直前にも午後からの全体説明会を行い、遅い時間から参加された方々への対応を改善しました。

第2回目は、8月4日（火）と5日（水）の2日間にわたり規模を拡大して開催しました。第1回目の内容に加え、菊地均教授による「100円ショップの上手な使い方～e-コマース入門～」と題する模擬講義が行われました。身近な話題から、商学的な専門的



第2回オープンキャンパスの全体説明会

内容まで解説され、非常に興味深い内容だったと参加者から好評でした。

9月13日の第3回目は、日曜日に開催することにより、遠方より参加されたご父母のご相談にお応えすることができました。

第4回目は10月3日（土）に開催され、田辺隆司教授による「世界遺産になれなかった山『富士山』～霊峰から観光地への変貌～」と題する模擬講義が行われました。観光と環境問題という重要な課題を分かりやすく解説され、参加者は認識を新たにしていました。

今年は新型インフルエンザの流行により、後半期の参加者が前年度に比べて減少しましたが、本学の特徴を理解し、内容深い模擬講義に感銘した参加者は、本学への志願を希望してくれるものと期待します。



第3回オープンキャンパスでの個別面談



2年次父母説明会

REPORT.. 報告1 キャリアサポートと就職支援について

キャリア支援センター長 中島 茂幸 教授

就職活動を支える体制づくり

本学では、学生の就職支援のために北海学園大学と共同で就職支援データベース「ミナトコム」を導入し、本学への多数の求人情報から職種別や勤務地別などを瞬時に検索できるようにしました。家庭のPCからもアクセスできます。また、学生の相談体制を全体的に展開するほか、個別相談しやすいように担当教員を配置しています。どうぞ相談を。

3年生に対しては、4月以降、就職活動の心構えや準備をはじめ、職業適性検査、SPI模擬試験、企業・業界の研究手法、インターンシップ制度、履

歴書・エントリーシートの書き方、面接の心構えと対応など、就職に直結するテーマのガイダンスを毎月実施しています。積極的に参加して自ら就活行動を起こそう。4年生には、逐次求人



7月21日の就職ガイダンス

情報を開示し、就活支援をしています。

こうした包括的な支援体制のほか教科履修単位の中に就職支援科目として情報管理論、旅行業務論、社会行政論、税務会計論、通商実務論、PAL（中国

語、韓国語、TOEIC英語）、職業指導などを配置しています。上手に履修すると単位の取得と実務にも役立ちます。



8月7日、学内で行われた合同企業説明会

インターンシップの実施と成果

インターンシップ制度は、学生時代において職業体験を通じて会社の仕組みや仕事の意味を理解することにあります。アルバイトのような個々に区分された仕事を行うのではなく、会社の先輩から全体的な指導を受け、その理解をもとに実務的な仕事を体験します。

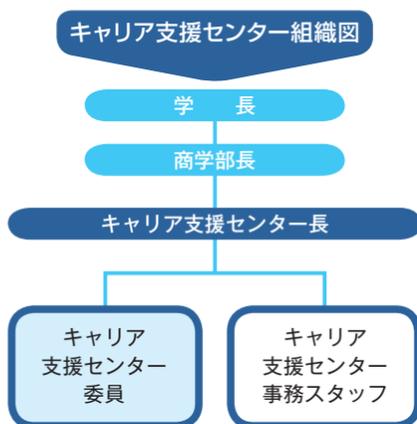
北海道におけるインターンシップ制度は、北海道経済産業局のモデル事業として北海道地域インターンシップ推進協議会・北海道経営者協会のもとに、参加企業、参加大学の参加学生との割当調整などを図り実施されています。

本学では、本年度インターンシップを実施しました。割当企業数18社に対して、参加学生は28名でした。学生からは大変いい経験になった、また企業側からは、来ていた学生は皆さんまじめな学生で優秀でしたなどの意見がありました。

なお、現在のインターンシップは実施日数が数日あるいは1週間程度と短期なので単位認定は行っていないが、



乙川遠さん（商学科3年）のインターンシップ成果報告



将来は夏期休業中における中長期間のインターンシップの場合には、単位の認定も進めていきたいと思っています。

TOPICS.. 話題5 北見キャンパスでセミナー

7月25日、本学北見キャンパス国際会議場にて、本学開発政策研究所特別セミナーが開催されました。これは、「地域社会における福祉のあり方ー社会保障と雇用保障の充実に基づく多様な地域生活の構築に向けて」をテーマに、宮本太郎北海道大学法学研究科教授（麻生内閣「安心社会実現会議」メンバー）を講師にお招きしたものでした。また小谷毎彦北見市長に挨拶していただきました。

講演では、セーフティ・ネットの負担内容をよく吟味して考えると、必ずしも北欧の方が高負担であるとは言えないなど、多くの示唆に富む内容が話され、参加した市民も熱心に耳を傾けていました。



宮本太郎教授の講演

REPORT.. 報告2 短期交換留学生プログラムを実施

本学はカナダ・レスブリッジ大学と交流協定を結び、学生交換事業を行っています。本年度はカナダからの海外語学プログラムの交換留学生14名が、6月5日から7日まで北見キャンパスで、11日から24日までは本学8階を中心に日本語や日本学を学習しました。折からの新型インフルエンザへの対応のため、ホームステイプログラムが実施できませんでしたが、留学生たちは本学の19名におよぶピアパートナーと、よさこいソーラン祭りや北海道神宮神輿行列などを見学しました。圧巻であったのは教育会館で行なわれた餅つき体験で、レスブリッジ大学の学生やピアパートナー学生だけでなく、中国や韓国からの交換留学生を含む本学学生が多数参加し、交流を繰り広げました。25日には交換留学生14名の修了式が挙行され、26日にはピアパートナー達と別れを惜しみながらカナダへ帰国しました。

また、本年度よりスタートした中国山東大学威海分校からの短期研修プログラムでは、山東大学威海分校の学生13名を、7月2日から18日まで北見キャンパスで、21日から24日までは本学8階で受け入れました。滞在中には、韓国大田大学校や中国煙台大学・山東大学威海分校に本年度派遣される本学学生と交流し、北見市内では高校を見学して華道や茶道を体験しました。さらに本学と地域交流協定を結んでいる栗山町の介護センターや小林酒造など地場産業、ハサンベツの里山づくりなど環境教育の現場を本学交換留学生とともに見学しました。

両校の留学生の受け入れには、本学のプログラムでカナダや中国に派遣された学生のみならず、英語や中国語を履修した学生が協力し、活発な交流を行いました。



レスブリッジ短期交換留学生の生花体験



山東大学威海分校からの短期交換留学生

TOPICS.. 話題6 夏季休業修了、後期始まる

7月28日からの夏季休業が終了し、9月15日から18日まで、各学年毎の後

期セメスターガイダンスが行われました。



成績表の配布に始まり、履修登録の方法、学年の締めくくりに向けた教務連絡、先生方からはゼミナールのプレゼンテーション、3、4年生には就職支援についての連絡が行われ、学生からは商科祭、卒業記念アルバムなどの報告がありました。

REPORT.. 報告3 フィールドワークで石屋製菓へ

石屋製菓訪問—人的資源管理論II 担当 堤悦子准教授

7月22日、北海商科大学の人的資源管理論IIの受講者は、石屋製菓株式会社（札幌市西区）を訪れ、総務人事担当者と石屋商事株式会社の取締役へ質問調査を実施し、生産工程の見学を行った。同社は、不祥事から立ち直り、2009年の4月の連結決算で過去最高の93億円の売上を計上するに至っている。こうしたことが何故実現できたかについて、各自がそれまで学んできたマネジメント理論を総合して質問を行った。その結果、本だけではわかりづらい実際の企業の経営管理について学ぶことができた。



石屋商事の役員らに質問調査する学生

フィールドワークに参加した商学科3年生に感想を聞いた。—「石屋製菓

の『白い恋人』は観光客のお土産品としてだけではなく、私たち学生にもとても人気があります。それだけに、関心のある企業です。生産工程を見学しましたが、衛生面への配慮や検査システムの強化、また、意見などを言いやすい職場の環境づくりに努力しているとのことでした。再生への取り組みを実感しました。」—と話してくれた。

TOPICS.. 話題7 外国語スピーチコンテストで好成績

学習成果が実り、昨年に続き多数の入賞者!!

■9月27日、札幌国際プラザ主催の第27回中国語暗唱朗読大会が行われ、浅利幸乃さん（観光産業学科4年）が北海道日中友好センター会長賞を受賞しました。浅利さんのほかにも、本学の中国語学習者がスピーチコンテストにおいて学習成果を披露し、大活躍しています。

3部門で学習成果を競う中、大串多恵子さん（観光産業学科2年）は弁論部門で最優秀賞、茶谷康裕君（商学科2年）は2位、小野祥輔君（観光産業学科1年）は朗読部門で2位を受賞しました。大串多恵子さんは北海道を代表して来年1月に開かれる全国大会に出場します。

■10月31日、北海道近代美術館にて第11回北海道韓国語弁論大会が開催されました。本学からは三瓶里美さん（商学科2年）、熊谷翔平君（観光産業学科2年）、野澤まゆ子さん（観光産業学科3年）が予選を突破して出場。韓国人の親子の愛情表現について発表した野澤さんが金賞に、釜山地方の方言について発表した三瓶さんが銀賞に、日韓の野球文化の差に着いて発表した熊谷君が銅賞に輝くなど、出場者全員が入賞するという大快挙を達成しました。



スピーチをおこなう 浅利幸乃さん



写真上から、スピーチをおこなう野澤まゆ子さん、熊谷翔平君、三瓶里美さん



写真上から、スピーチをおこなう野澤まゆ子さん、熊谷翔平君、三瓶里美さん

■11月1日、札幌エルプラザにて全日本中国語スピーチコンテスト北海道大会が開催されました。多くの中国語学習者がそれぞれ暗唱、朗読、弁論の



全日本中国語スピーチコンテスト北海道大会で受賞の学生（左から茶谷康裕君、大串多恵子さん、小野祥輔君）

[入賞原稿日本語訳] 한국 사람의 가족 사랑 韓国人の家族の愛 野澤 まゆ子

こんにちは。私は北海商科大学3年生の野澤まゆ子と申します。私は韓国語を勉強して3年目になります。特に韓国に興味があったわけではないのですが、1年生の時に短期留学に行き、韓国の文化や風習が好きになりました。帰国後は聞き取りの勉強のため韓国のドラマやバラエティーなどさまざまなジャンルの番組を見ています。そして感じたことがあります。それは韓国人は本当に家族を大切にしているということです。決して日本人が家族を大切にしていなくてもいいわけではありませんが、韓国人のほうが家族との距離が近く家族を大切にしているということを常に表現していると思いました。

ホームドラマを見てもいいのですが、私がこのように思ったのは、歌番組で1位になった時やバラエティー番組でメッセージを送るときは、必ずと言っていいほど「お母さん、お父さん、愛しています」と言います。日本ではあまり見られない光景です。日本人は心の中で思っただけで口に出すことが苦手なのだと思います。

私が留学している時ホームステイをする機会がありました。留学をして1ヶ月が過ぎ、家族が恋しくなっていた頃でした。韓国で知り合った一人暮らしの先輩が秋夕（お盆）で自宅に帰るといので、久しぶりの里帰りについていきました。私は先輩のお母さんの手作りのご馳走をたくさん食べ部屋で時間が過ぎるのも忘れ楽しく会話に花を咲かせていました。しばらくすると、お母さんが部屋に入ってきました。そして、先輩が寝ているベッドに座り頭を撫でながら親子の会話を始めました。私はびっくりしました。日本人は大抵友達か自分の部屋に来ている時、母は部屋へ入ってきません。親が部屋に来たら恥ずかしかったり、煙たがります。それなのに堂々と親子のスキンシップを始めたのです。私にとっては羨ましくもあり、ドラマを見ていたような微笑ましい光景でした。そして、益々両親が恋しくなり私にとって父と母がどんなに大切な存在か分かりました。

韓国の家庭でよく聞く言葉は、お母さんが自分の子供に向かって「私の息子はかっこいいわね」や「私の娘は本当に美人だ」などの誉め言葉です。人前で堂々と我が子を誉める習慣も日本にはありません。むしろ人々は「親ばか」と言います。日本語では「親ばか」と言います。

しかし考えて見ると我が子を愛し慈しむ心は万国共通ではないでしょうか。日本人はもっとストレートに愛情表現をするべきだと思います。

私は一人娘です。もちろんお父さんとお母さんともとても仲良しですが、でも、照れくさくて言葉や行動を表わすのが苦手です。私はできることなら韓国人のように両親に甘えたいですが、恥ずかしくてそれができません。

どれだけ家族を大切に思っただけでも、それを言葉に出して伝えることは日本人にとっては簡単なようで難しいことです。でも韓国語を習い、韓国の習慣を見てきた今だからこその言えることでもあります。この場を借りて言いたいです。

これからも韓国語はもちろん、一生懸命勉強してたくさん親孝行するからね!お母さん、お父さん 愛しています。これで終わります。ご清聴ありがとうございました。

[入賞原稿日本語訳] 我的留学生活“写真” 留学生活の思い出 大串 多恵子

何千年もの歴史を持つ古い都でありながら流行と現代との共同体であり、そして今までかつてないオリンピックで世界を魅了させた都市、それは中国の首都北京です。高校二年生の時私は家族と北京を旅行しました。北京で訪れた故宮や万里の長城は私を強く引きつけ、また北京ダックやタンフルの味はさらにこの旅を忘れ難いものとしさせました。しかしもっと心に焼き付いたのは中国人の優しさと熱心さでした。当時私は中国語は全く話せなかったが、温かく私を受け入れ助けてくれた中国人に感動し、将来絶対に中国語を話せるようになりまた中国に来ようと思いました。

大学に入学すると同時に私は中国語を勉強し始めました。始めは特に声調の違いがわからず苦労しましたが、中国を旅した時の気持ち忘れられず、努力を続けることができました。毎日夜ひとり録音のCDを聞きながら練習を続けたおかげもあり、威海へ留学できることが決まりました。

威海で過ごした半年間で私は二人の気の合う仲間に出会うことができました。一緒に交流していく中で彼らは日本に興味を持ってくれて日本語の勉強を始めました。また友達を通して彼女の親戚のおじさんとおばさんとも知り合うことができました。

ある日は友達と一緒にこの夫婦の家に招いていただき、言葉はあまりうまくは通じませんでしたがたくさんのご飯を用意し出迎えてくれ、よだれが垂れてしまうほどおいしい料理を私にごちそうしてくれました。中国の家庭はこんなに温かいのかと感動し、また中国人の優しさに涙が出るほど感動したことを覚えています。

今回の留学生活の中で私が一番感銘を受けたのは、友達と泰山に登ったことです。日本でも泰山がどんな山なのかは聞いていましたが、実際行ってみて中国五岳の泰山の氣勢を我が眼で見て感じるようになりました。夜中の十二時に山に登り始め、初めは頂上に登ろうと友達と元気に登っていましたが、だんだん体力がつかなくなり、足が思うように動かなくなり、頂上に本当にたどり着けるかと不安になりました。しかしそんなとき周りの中国人を見るとみんな頂上を目指して一歩一歩登っていて、足を止めてはならないと感じ、どれだけ長い道のりでもどれだけ辛くても何事も続けることが大切だと心に言い聞かせながら登りました。登り始めて約五時間、ついに頂上にたどり着くことができ、「頂上から下を見渡せばその山は小さく感じる」という唐の詩人杜甫の言葉を心から感じ達成感に満ちていました。頂上で友達とたくさん話をしました。彼らはそこで、将来は日中貿易に携わる仕事をし中日友好に貢献したいと私に言いました。それを聞いて私もすぐ彼らに、私が中国語を勉強した理由もそれ!と言いました。頂上は雲と霧に囲まれるまで空の中にいるみたいで、突然山登りと人生は同じではないかと感じ、いかげんに生きてはいけなく、はっきりとした自分の夢に向かい進んでいかないと感じました。では私は何に向かって進んで行けばいいのでしょうか。私は大学を卒業したら普通のOLとして働きその後結婚してからは専業主婦になれればいいと思っていました。しかしあの瞬間私はそれではいけない、と感じ将来やりたいこと、人と違う生活をしようと思ったのです。中国語と観光学をしっかり勉強し、将来は国外でも活躍できるようなガイドになり日中友好に貢献したいと強く思いました。これからはこの夢に向かって前を向いて進んでいきます。多恵子、がんばれ!

留学特集 ～新たな価値の創造に向けて～

北海商科大学の国際交流

国際交流センター長
加藤 由紀子 准教授

日本学生機構の調査によると、2007年度の協定等に基づき海外の大学等に派遣された日本人学生は23,806名となり、そのうち12.4%が中国、8.9%がカナダ、5.9%が韓国に留学をしている。

一方、2008年5月現在の日本における外国人留学生は、123,829名と過去最高の受け入れ数となった。中国からの留学生が58%、韓国からの留学生は15%を占め、まさに若い学生達の時代における留学は極めて身近なものに

なっていると言える。

本学では2006年からこれまでに交流協定大学だけでも、海外研修も含め、中国123名、韓国41名、カナダに11名を派遣し、中国から57名、韓国から21名、カナダから26名を受け入れた。これも教育におけるグローバル化の一面であろう。

「天の原ふりさけ見れば春日なる三笠の山にいでし月かも」は万葉集にある阿倍仲麻呂の歌であるが、彼は遣唐留学生として中国で学び、望郷の念をこのように詠みながら科挙試験に合格し、唐朝に仕えた。

だが、今は違う。ITの発展により

若者はいとも簡単に時空を飛び越える。空や海を跳め故国に思いをはせることなく、故国で起こった出来事は、プライベートなことから社会や政治まで瞬時に手に入れることができる。ブログなどを通して、議論の輪にはいることも可能だ。

本学で力を入れている語学は、意思や思考の伝達媒介のためだけではない。言葉の裏にある社会や文化を学んでこそ、初めてその役割を發揮する。「百聞は一見にしかず」の一見とは「実際に自分の目で見る」ことである。つまり一次情報を大事にするということだ。ここでの一次情報とは、自分が直

接見たこと、会って直接聞いたことなど、自ら仕入れた現場情報のことを言う。語学のスタート時には、どうしても第三者を介して得た二次情報が多くを占めるが、留学はまさに一次情報を得る絶好の機会である。そして、海外で学ぶものは語学だけでない。異国での生活そのものが学びである。自国と異なった環境のなかで生活することは、これまでの自分の価値観との戦いであり、また新たな価値観を創造することでもある。

コミュニケーションとは「共有する」というラテン語が語源である。留学先で異文化を学び共有する。それだけでなく、自国の文化を留学先で共有することも大切だ。つまりグローバルに学びローカルも学びなおす。そのような留学生活を送っていただきたいと考える。



カナダの大自然を満喫するレスブリッジ大学派遣留学生



交換留学生歓迎会で司会を務める加藤先生(左から二人目)



交換教員隋先生・黄先生の送別会での中井君・堀内さんクブチ砂漠にもでかけ、緑化活動に参加し、北海道との友好の機会も作りたと思っています。



中国 山東省
煙台大学

黒竜江省哈爾濱市
遼寧省大連市



韓国 大田広域市
大田大学校



中国 山東省
山東大学威海分校



カナダ アルバータ州
レスブリッジ大学

初の国費留学にあたって●インタビュー

前期セメスターが修了した8月、堀内真希さん(観光産業学科3年)、中井龍君(観光産業学科3年)が中国政府の国費留学生として、それぞれ黒龍江大学、山東大学に約5年(希望による最長期間)の留学資格を得て、多くの希望を携え旅立ちました。出発に先立ち、抱負を聞きました。



堀内: 大学進学の際に迷っている時に、オープンキャンパスで出会った蘇林先生の中国語模擬講義にとっても刺激を受けました。これからの時代は、世界の5人に1人が話す中国語が面白いぞ、という高校の先生の後押しもあり入学しましたが、1年時の半年間の交換留学

を経験、中国人の友人との交流や中国語の勉強の毎日がとても貴重でしたし、楽しかった。中国の学生は、目標を持っていてとてもハングリー。せっかくいただいた機会なので、中国では語学をマスターするだけではなく、プラスアルファの勉強をして来たいので国際経済貿易学科を選びました。帰国後の就職などを考えたりするとリスクもあるかと思いますが、それよりも若い

時にしか体験できないこのチャンスを大事にしたいと思います。

中井: 高校時代からの中国への興味が、「アジアを学ぶ」ことを特色にしている北海商科大学への入学動機でしたが、やはり1年時の交換留学を通して、中国人のパワー、逞しさに圧倒され、そこから学ぶことが沢山ありました。その後札幌市と姉妹都市交流のある瀋陽市の研修に参加したりして、中国の歴史に興味を持ち、山東大学では歴史学科に留学します。古文書を調べる中で



中国語の勉強も深めたいと思います。また、商科大学との関係も深い内蒙古の

私の

留学記

水野 俊平 教授



私は韓国に1990年から16年滞在しましたが、大学院に在籍したのは5年ほどですので、留学期間は5年ほどになると思います。そのころはまだ韓国に留学する学生もわずかでした。さらに日本中がバブル景気に沸いており、就職は引く手あまたという状態だったので、韓国に留学に行くというだけで相当な奇人として見られました。留学した先は韓国の南西部にある全南大学校という国立大学。当時はまだ学生の政治活動が盛んで、催涙弾を撃つ機動隊相手に学生たちが火炎瓶や投石でわたり合う光景を毎日のように目の当たりにしました。韓国の学生・院生が必死で勉強に励む姿は印象的で、図書館

の自習室は朝6時に席取りをしないと座る場所がなく、あぶれた学生は空き教室で勉強しているという有様でした。その自習室は夜の11時まで、試験前は24時間開放。呑気な雰囲気日本の大学から留学した身からすると相当な衝撃でした。勉学のほうは韓国人に負けじと死力をつくしてやったつもりです。しかし課程を無事に修了できたのも学位を貰えたのも教指導してくれた諸先生や助力を惜しまなかった諸先輩がおられたからこそ。留学は人との出会いも重要なのです。

住まいは下宿でしたが、1年ほどで追い出され、自炊部屋に。オンドル(床暖房)の部屋でしたが、燃料は煉炭(石炭の粉を固めた燃料)でした。一冬に煉炭を200個ほど買って焚いたものです。飯は自炊部屋に移ってからは基本的に自炊していました。学食の飯が不味かったこともありますが、やっぱり自炊したほうが経済的だっ

たからです。当初は食材調達が煩わしかったのですが、韓国人の彼女から(現・家内の実家から)食材が供給されるようになり、だいぶ楽になりました。勉学だけでなく日常の留学生活においても人との出会いは重要なわけです。

生活面で困ったのは洗濯機がなかったこと。買う金もなく、置く場所もなく、大体、周囲に洗濯機を持っている学生などいませんでした。コインランドリーというものは存在しませんでした。5年間手洗いで洗濯しましたが、夏はともかく冬は辛かったです。なぜならお湯が出なかったからです。お湯が出なかったので体を洗うのも水でした。夏場はよかったです(夏でも寒かったです)、春や秋は寒中修行やっていたみたいで、さすがにこれはきつかったです。冬は仕方なく風呂屋に行きました。そのころは夏に水で体を洗うのは常識で、風呂屋は夏の間は長期休

業だったのです(また風呂代も高かったです)。最近は韓国の学生の生活水準も劇的に向上し、こんな生活をしている学生はいないと思います。でも、こういうサバイバル留学生活を送ったおかげで少々のことでは動じなくなりました。留学の意義はいろいろあると思いますが、打たれ強さや生活力の獲得も重要な成果ではないかと思えます。私が留学生活で得たものは、「勉学」「人との出会い」そして、この「生活力」ということになるでしょうか。



一九九三年、全南大学校の学位授与式にて

なくなってきたものの、海外で生活していると、ふとした時に日本文化を考えるよい機会になる。留学生活はまた、自国の文化を再認識する場であると考えます。

レスブリッジ大学

カナダ アルバータ州レスブリッジ市

1967年に創立された州立総合大学で、文理学部、芸術学部、教育学部、経営学部、看護学部があり、約5,000人が在学している。[以下留学プログラム]

▶学生交換事業(派遣)・夏期海外研修

商学部学生5名程(北海学園大学との共同募集)が隔年8月上旬から8月下旬までの約4週間、レスブリッジ大学の特別英語学習(ESL)プログラムを受講しながら、交流イベントなどを通して実地で英語研修と文化や生活の理解力を養う。滞在中の宿舎はレスブリッジ市内ではホームステイとなり、平日はホストファミリー宅から通学し、週末はホストファミリーと過ごす。

これまでに本学学生が11名参加しているが、TOEICの点数などの条件は特に設けていないものの、応募学生については書類審査と面接を行なっている。参加学生は、航空運賃や保険などの渡航費用と現地での食費など諸経費を負担し、数回の事前研修に参加してカナダへの理解を深める。

現地では、ESLについての説明とクラス分けのためのテストが行われる。ELSの授業では、リーディングやヒアリング、文法や会話などが集中的に盛り込まれる。

▶学生交換事業(派遣)

商学部学生 1~2名(北海学園大学との共同募集)を夏学期(5月~8月)から秋学期(9月~12月)まで派遣する。夏学期始めに実施されるEAPプログラム(English as a Second Language for Academic Purpose Program)のプレースメントテストを受験し、その結果により上級レベル(Advanced level)の受講が許可される。夏学期終了時に平均70%以上の評価が得られた場合は、秋学期に開講される学部開講科目の受講が許可され

る。TOEIC650点もしくはTOEFL510点以上を取得している学生が対象となる。

応募については夏期海外研修と同様に書類審査と面接で決定される。参加学生は、航空運賃や保険などの渡航費用と現地での食費など諸経費を負担する。

大田大学校

韓国 大田広域市

1981年に開校した韓国の名門私学の一つ。8つの単科大学(学部)、52の学科を持ち、約13,000名が在学している。世界16カ国38校の大学から留学生を受け入れている。



大田大学校パソコン教室

学生との交流を深め、韓国をより理解するためにバスツアーなど交流会に参加する。煙台大学・山東大学威海分校(中国)では留学中は中国語総合で読み取りなどや、会話や発音とヒアリング、語彙文法などの講義と演習のほか、書道や視聴覚鑑賞、太極拳などの選択科目があり、後半は中国語検定受験のための補講も開講される。また、それぞれ北海商科大学の現地プログラムとして、宿泊研修旅行を行なっている。

参加学生は、航空運賃や保険などの渡航費用と現地での食費など諸経費の負担があり、事前に特別講義を受講する。

▶学生交換事業(2 Semester 期間派遣)

韓国語会話・作文 I ないし II を修得し、大田大学校での留学水準到達試験レベルに合格した学生と、中国語会話・作文 I ないし II を修得して、中国語能力認定標準化国家試験(HSK: 漢語水平考試 Hanyu Shuiping Kaoshi)の4級以上に合格した学生とで、希望する者は1年間以内のそれぞれの大学における上級留学生プログラム(語学プログラム及び教養科目など)を受講できる。留学費用に関しては、1 Semester 期間派遣と同様である。

本学の協定校留学の概要

本学では、国際社会で活躍できる人材の養成という教育方針に沿って、レスブリッジ大学(カナダ)、大田(テジョン)大学校(韓国)、煙台大学(中国)、山東大学威海分校(中国)とそれぞれ交流協定を結んでいる。協定校の概要とシステムは、次の通りである。

以下、大田大学校と煙台大学、山東大学威海分校の留学プログラム

▶学生交換事業(1 Semester 期間派遣)

韓国語 I 履修者、中国語 I 履修者で、海外語学留学生選抜試験に合格した学生が、8月下旬に出発し、9月~2月初旬まで約5ヵ月間、それぞれの大学における留学生プログラム(語学プログラム及び韓国文化、中国文化や社会の理解のためのプログラム)を受講する。単位相互認定制度により、プログラム修得単位を海外韓国語、海外中国語として15単位を北海商科大学の単位として認定する。宿泊施設はキャンパス内にある留学生用の学生寮(原則2名1部屋)で生活し、食事は学生食堂などを利用する。留学中は日本語日文科の学生が協力学生として、留学生活が円滑に行われるように支援してくれる。留学中は大田大学校では会話や作文などの講義や演習のほか、各国留

煙台大学

中国 山東省煙台市

1984年に北京大学、清華大学の協力を得て設立された山東省の重点大学。19の大学院、9学部、45の専門学科を持ち、約23,000名が在学している。アメリカ・カナダ・英国・オーストラリア・韓国・日本などからの留学生を受け入れている。



煙台大学全景

山東大学威海分校

中国 山東省威海市

1984年に中国国家重点大学である山東大学の分校として設立。本校は済南市。21の大学院、8学部、28の専門学科を持ち、約15,000名が在学している。世界の10数校の大学から留学生を受け入れている。

留学だより 現在留学中の粕谷汐里さんと中井龍君から便りが届きました。



●粕谷 汐里 (商学科1年) 2009年10月11日

私達が大田大学校に留学して約1ヶ月半が経ちました。

韓国に来てはじめての1週間は、慣れないことが多く、不安だらけで、これから生活していけるかどうか心配でしたが、国際交流センターの方々がお世話してくれましたのでとても助かりました。

9月に入って新学期になり、私達も授業が始まって、様々な行事が行われました。授業は毎日9時から13時まで中国人と一緒に受けています。韓国語以外の言語が一切使われないので少し大変ですが、先生方がとても親切で、わからないことがあった時は個別で教

えてくれます。そして、大田大学校には日本語日文学科があり、皆日本語が上手なので、何か困ったことがあるといつも助けてくれます。

行事は、9月の終わりに外国人留学生のための市内観光ツアーがありました。動物園や遊園地に行き、それから高麗人蔘のお祭りがあったのでそれに参加し、人蔘掘りを体験しました。留学生のみのツアーだったので、中国人やタイ人と交流を深めることができたとても良い行事でした。

そして、10月7日~9日には大田大学校の学校祭がありました。平日なので、学校祭は18時から開催され、学科ごとに屋台が出店されていて、私達は日文学科の出し物に参加し、

修了式 大田大学校では、Semester 終了後に修了式が挙行され、総長から修了証書が学生一人一人に手渡される。そして総長の式辞のあと、留学生生活についてのプレゼンテーションが国別(日本は大学別)に韓国語で行なわれた。このプレゼンターは本学では二〇〇六年度は藤島さん、二〇〇七年度は吉川さん、二〇〇八年度は下条さんが務め、留学の成果を発表した。

修了式の後半は、留学生たちのパフォーマンスが披露され、各国からの留学生が歌や踊りや劇などで盛り上げた。修了式の後は、国際交流センター主催の懇親会が開かれ、各国からの留学生が友好を深めた。

なお、本学の学生は修了式後も大田大学校に残り、韓国語演習など、帰国まで学習を継続する。



●2008年度、大田大学校(韓国)の修了式

お好み焼きやたこ焼きなどを売りました。残りの5ヶ月間、勉強をしながら、たくさん

思い出を作っていければいいなと思います。

●中井 龍 (観光産業学科3年) 2009年11月21日



留学生の仲間と

好久不見了。私は現在北京語言大学で中国語を学習しています。8月に北京に来ました。今年、中国は10月に建国60周年を迎え、天安門広場においては祝賀行事が開かれました。あいにく、警備の関係で祝賀行事を見学することはできませんでしたが、祝賀ムードは十分に体感できました。いい経験でした。さて私は毎日中国語と格闘(?)しつつ、充実した生活を楽しんでいます。私が留学して

いる北京語言大学での授業は、毎日朝8時半から始まります。受講している科目は中国語の文法や読解等や、中国の観光地理に関するものです。授業によっては討論形式を採用しているため、コミュニケーション能力や表現力を養うことができます。(ハードですよ。)住んでいる寮にはたくさんの留学生がおり、韓国・タイ・エジプト・アフリカなど国籍が多様なので、いろいろな国の人と知り合いになれます。ルームメイトは大学側で決定し、私のルームメイトは、オランダ人で、好きな音楽や趣味などが似ており、また人柄もいいのでラッキーでした。休日は北京市内を散策したり、相互学習したりして過ごしています。北京にはあまり知られていない名所も多いので散策していて飽きません。春節も今から楽しみです。北京にはあと9ヶ月滞在しますが、この期間を大切に、一回り大きく成長して次の留学地(山東省)に行くことができるよう頑張ります。

留学生生活ハイライト



●煙台大学(中国)での寮生活

学生寮での生活

それぞれの協定校では、外国人留学生のための学生寮が用意され、学生達は2名1室で共同生活を営む。食事については、学生食堂で食事を摂る。売店で果物やパンなどを購入する者、デリバリー(出前)を取る者、また大学寮によっては給湯室が併設されており、そこで簡単な料理を作る者もさまざまである。中国の山東省は農業や水産業が盛んであり、大学のある煙台や威海市は中国でも有数の魚介類の水揚げ地である。リンゴなどの果樹とピーナツなどの木の実は数多く産出している。

食生活はその国の文化を反映するものである。例えば、和食の主流は懐石料理などの流れを組み、「一汁三菜」ご飯と汁ものにおかず三品(酢の物や和えもの、煮物、焼物)などであるが、この皿の数は、奇数を陽とし偶数を陰とする思想から来ている。和食の定食などは、今でもこの文化にそって提供されている。食生活の変化に伴い、こうした文化背景を意識することが少

ゼミ訪問1

細野昌和 観光研究ゼミナール

地域の観光を振興しようと、多くの地方で実施されている「ご当地観光検定」。その資格が十分に活用されているとはいえない中で、細野ゼミでは、検定合格者のもつ観光情報を地域に役立てるためのプロジェクトを進めています。

細野昌和准教授の観光研究ゼミナールは、「観光調査」をテーマとしています。二〇〇九年度の前期、細野先生の観光研究ゼミナールIIを履修した竹本一貴君（観光産業学科3年）は、細野先生とマンツーマンで「観光マイスター」についての調査プロジェクトを進めてきました。

この調査で定義する「観光マイスター」とは、いわゆる「ご当地観光検定」の合格者に対して認定が与えられる資格のこと。こうした観光検定は、都道府県、市町村単位で、商工会議所などが中心となって実施されています。

竹本君が観光マイスターの調査に取り組むことになったきっかけは、細野先生が話された「合格者が資格をどのように活かしているのか、地方自治体が資格を観光振興に役立てられる仕組みはあるのか」という疑問に、興味を抱いたことでした。

当面の作業は、インターネットを中心とした基礎調査による現状の把握でした。調査から見えてきたのは、地域によって基準も位置づけもまったく違う、資格を活かす場がほとんどない、合格者同士がネットワークをつくるための手段もほとんどない、といった問題点です。その一方で、観光検定合格者が観光ガイドやボランティアとなつて活躍している地域もあることから、観光マイスターが地域の観光に貢献できる



打ち合わせ中の細野准教授（左）と竹本一貴君

ための要因や仕組みのあり方について分析をつづけていきます。9月15、16日には、細野先生が座長を務める、稚内市の地元有志



「ご当地観光検定」のガイドブック

が実施している観光振興ワークショップに竹本君も参加。このワークショップは、稚内の魅力を地元で再確認しようと、商店街や空港、行政など、職種を越えたメンバーが集まったものです。竹本君は、地域観光の立て直しに力を傾ける現地の

メンバーと意見を交わし、現場の声や認識、情熱を実感しました。こうした経験と収集した調査データをふまえて、竹本君は後期も継続して、観光マイスターの資格を活用するための方法を模索しています。今期は7名の2年生も新たに加わり、「観光情報発信」がプロジェクトテーマとなりました。いま、竹本君をはじめとしたゼミ生は、観光情報の橋渡しをコンセプトに、資格取得者もつ情報の集約と、その情報発信をめざしたインターネットサイトの開設に取り組んでいます。

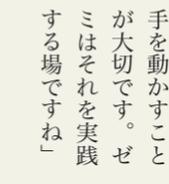
ゼミ訪問2

大内東 観光研究ゼミナール

二〇〇九年度から本学観光産業学科の教員となつた大内東教授の専門は「複雑調和系工学」。この理論をベースに、大内ゼミの学生が取り組む活動について聞きました。

「複雑系」とは、振る舞いが不確定なシステムのこと。調和とは、矛盾や衝突がなく、バランスが取れている状態。工学とは、ものをつくるための方法論。観光やサービス産業も、サービスの質や費用など、多くの要素がからみ合う複雑なシステムです。対象となるシステムの問題点を考え、調和をどのように実現するかが「複雑調和系工学」の研究目的となつています。

大内東教授はこの理論をベースに、「商情報学」と「観光情報学」をテーマとした講義と観光研究ゼミナールを行っています。「観光情報学」は、商情報学のなかの分野として、野として、大内先生が体系づけた分野です。



情報処理北海道シンポジウムで大内ゼミ生が発表



大学祭での模擬店で経営戦略を学ぶ

「商学は、一般学生が学ぶビジネス関連学問のなかで、一番身近なものではないでしょうか。現代社会はITなしでは立ち行かません。ITを有効活用したビジネスモデルを取り入れていくことが、私の考える商情報学です」

二〇〇九年度前期のゼミは、商情報学がテーマ。大内先生が取り入れたのは、「バランススコアカード（BSC）」という経営戦略策定手法でした。BSCの特徴は、企業が経営戦略マップをつくり、社員全員で情報を共有するということです。この手法で大切な、立案・計画・実行・評価という過程

を実感として理解するため、9月26日に開催された北海道商祭での模擬店経営を通して、BSCの実践を学びました。このゼミに参加した観光産業学科3年の善田雄一君、阿部尚之君の2名は「情報処理北海道シンポジウム2009 in 旭川（10月3日）」でプロジェクトの結果を大内先生とともに発表。高い評価を得ています。

後期のゼミのテーマは「観光情報学」で、さらに具体的にになりました。札幌市と旭川市を結ぶ国道12号線沿いの地域を対象に、新しい観光商品の開発をめざします。これは、素通りされがちな観光客を呼び込もうと、大内先生が中心となつて提唱している「R12背骨プロジェクト」に基づくものです。ゼミ生それぞれが観光商品（例えば日帰りツアー）を考え、実際の旅行会社へ主催ツアーとして提案する予定です。

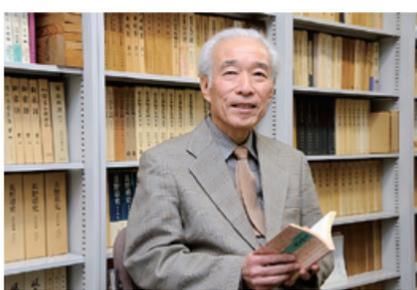
ゼミ活動を通して、日々、問題解決の方法を学ぶ学生たち。大内先生は、学ぶ上で大切なことを次のように話します。

「解決法を自分で考え、調べ、手を動かすことが大切です。ゼミはそれを実践する場です」

REPORT 報告4

研究のいま 飯岡 正毅 教授

江戸庶民の雨



学生時代に興味を抱いた川柳を、老後に備えた肩のこらない研究素材にしようと思立って、以来6年余り岩波文庫『川柳集成』のデータベース化に努め、近頃全冊約3万8千句の入力を終えたが、その過程で気付いたことを紹介したい。

本尊がものを言つたら傘一本
 「(唐)傘一本」は、破戒僧が寺を追放されることで、その際、傘一本だけ持つことを許されたところから言う。それは夏場は未だしも、他の季節に雨雪に直接さらされれば、病気や命にかかわる場合もあるからであろう。僧の傘一本ではないが、借り傘や雨宿(雨舎)り等、雨に降り籠められる江戸川柳が少なくない。以下に幾つかを引用し、その実態を探ってみる。

にわか雨駈けられるたけ駈けるなり
にわか雨女がいと傘が降り
 方々から傘の差し手が寄って来るのである。しかし、左程でない、ぬれて行く女かぞへる雨やどり
 初句は男の息の続くまで走る姿であ

ろう。この様に濡れながら行く男女の例もあるが、知り合いを訪ね傘を借りるか、その当てのない場合は雨宿りで降雨をしのぐ柳句が多い。

ただし、次の様な例外もある。
にわか雨まぎまぎ伯父のまへを駆け
 当時、伯(叔)父・伯(叔)母は、甥・姪の不始末をその親に取りなす貴重な役割を果たしたのであるが、不始末も重なれば見放され、折角伯父の家を目にしなが借り傘も出来ず、むぎむぎと駆け抜けることになる。そこで、友人の処で借りようとしたところ、
化けそうなのでも良しかと傘をかし
 「百鬼夜行絵巻」登場以来、人気者の唐傘お化けを連想した破れ傘である。貸す方も、傘は数あるものではなく、
二人目は女房の傘をかしてやり
 あるいは、
壺本傘かして小言で内に居る
 なけなしの傘を持って行かれて予定の外出もならず、貸した女房へであろうか小言を言う破目になる。さらには、
こつちでも降ると要るよと貸てやり
 上3句は正常な傘であろうが、ほとんどの川柳子は、次の様な破れ傘を主役に据える。いささか誇張気味ながら、
紙屑の付た竹くず雨に借り
 唐傘は竹の骨に紙を貼り轆轤で開閉するよう製したが、右の様なボロ傘は古傘買いが買い集め、破れた部分を、あるいはそっくり張り替えた「張り替え傘」として再生した。
 余談になるが、剥がした紙も捨てるのではなく「ももんじ屋」(猪・鹿

等の獣肉料理店)に廻し、肉を買い求める客への包紙に利用した。傘の張り紙は防水に桐または荏油がひいてあり、血・肉汁を滲み透さないからで、当時のリサイクルは徹底していた。

以上の様に曲がりなりにも傘を借りられればよいが、その当てがないと雨宿りすることになる。場所は民家・寺社堂塔の軒先、商家の店先等、様々で、次句は地方出身者同士の情景である。

てんでんに宿所をかたる雨舎り
 双方領主を異にする等の訴訟は幕府評定所の管轄であったから、出府して日本橋馬喰町辺の公事宿に投宿し裁判を仰いだ。しかし審理は月に数日であるため、余暇に江戸見物をする者が多く、その途中であろう。

こうした雨宿りも運がよければ、器量の良い女性と一緒にすることもあり、
近づきを考へて居る雨やどり
 となるが、そうこうしている内に、
雨舎りおい娘に傘が来る
 結果、張りを失い、
雨やどり出ようとしてハよしにする
 挙げ句は、
本降りにて出て行く雨やどり

今も昔も雨に濡れるのを嫌う情況は変わらないが、江戸時代は現在とは異なり格段に条件が悪かった。辻駕籠が唯一の運輸手段であった江戸市中のこと、外出すれば今日とは比較にならない程、歩行距離は長かった筈である。長距離・長時間ズブ濡れと

なって歩けば、冒頭述べた如く万病の元である風邪をひきかねず、また、
湯気の立つぬかるミへ傘千して置キ
 舗装道路もなかったのも、雨になれば往来は水溜まりでぬかるみ、滑って転んだり跳ねた泥染みを着物に着けることは避けられない。そこで、
あきらめて上下共に着る雨舎
 の様に、泥が着いても目に付かない下着を上着の上に、つまりあべこべに着て上着が汚れるのを防ぐ工夫もした。襦袢の様な下着は丸洗い出来ても、上着は縫い目をほどこし洗い張りして縫い直さねばならず、経済的負担はもとより、その間の洗い替え、あるいは単に乾くまでの着替えにも、事欠く階層が多かったからであろう。

傘かりに沙汰のかぎりな人が来ル
 不義理を重ねいかに言語道断と言われようとも、抛ん所なく借り傘を頼み、当てがなければ雨宿りで降り止むのを、長時間待たざるを得なかったのである。武家門前の土庶・老若男女20名程を描く、英一蝶「雨宿り図屏風」の情景も見方が変わり共感すら覚えられよう。



写真 ● 佐々木郁夫

REPORT.. 報告5 APQ関係検定資格の概要 [MCAS編]

学報Vol.06において、2008年度のAPQ関係検定資格の合格者数実績を紹介しました。今号からは、それら検定資格の概要を随時紹介していきます。まず今号では、高い合格実績を誇るMCAS (Microsoft Certified Application Specialist) を取り上げます。なおカリキュラム上MCASは、専門基礎科目コンピュータリテラシーI・IIと連係する情報管理論I～IIIでの学習成果に関係します。

MCASは、従来のMOS (Microsoft Office Specialist) がアップグレードされたもので、オフィスワーカーを対象に、国内外を問わず幅広く使われているビジネスアプリケーションMicrosoft Office2007とWindows Vistaに関する利用スキルをMicrosoft社が認定する資格試験です。MCASは、アジア、アメリカ、ヨーロッパ各地など、世界133カ国規模で実施されており、世界で通用する国際的な資格です。合格者には世界共通の合格認定証が送られます。MCASは全6つの資格で構成されており、試験は全てコンピュータを使った実技試験です。本学では、オフィスワークで最も多用されるWord、Excel、PowerPointの資格取得に対応しています。

MCASは、企業の認知度も高く、資格取得者は最新のOffice2007を使いこなせる人材として、企業からの高い評価が期待できます。また、新しい資格であるため有資格者が少なく、これを取得することでライバルを一步リ

ドすることができます。さらに資格取得に向けて実技中心に学ぶことになるため、身につけた成果をすぐに活用することができるなどのメリットも指摘されています。

私たちをとりまくICT技術は秒進分歩で進化し、iPhoneなどのスマートフォンにみられるように、日々デジタルツールは多様化・高機能化してきています。しかし、そんななかでもパソコンが、オフィスワークの中心であることに当分変わりはないでしょう。むしろ1人1台から2台、3台が当たり前となってきています。MCASは、単に就職のためだけではなく、就業後も求められるビジネスパーソンの価値、エンプロイアビリティ向上のために獲得しておきたい有力な資格の1つであることは、間違いありません。



MCAS合格認定証

- MCAS試験科目一覧**
- 1 Using Microsoft® Office Word 2007
 - 2 Using Microsoft® Office Excel® 2007
 - 3 Using Microsoft® Office PowerPoint® 2007
 - 4 Using Microsoft® Office Access 2007
 - 5 Using Microsoft® Office Outlook® 2007
 - 6 Windows Vista® for the Business Worker

※いずれも試験時間は50分。問題数はVista検定のみ約30～40問、他は約20～35問。
※資格は1科目毎に認定される。

REPORT.. 報告6 教職課程の概要

学生一人一人の適性や進路希望等にきめ細かく対応した教育を推進する本学では、将来、教職を目指す学生を対象にして、教職課程を開設しています。

本学の教職課程において取得できる教員免許は、高等学校教諭1種免許状(商業科)と高等学校教諭1種免許状(公民科)の2種類となっており、いわゆる「高校の先生」を目指す学生に広く門戸を開いています。

そのうち、商業科教諭については、前進の北海学園北見大学の1期卒業生が昭和56年に公立高校の教員に採用されて以来、多くの採用者を排出しており、今日、86名の卒業生が全道各地の高等学校の教員として活躍しています。

また、期限付き教員や時間講師などを含めると100名程の卒業生が教壇に立っており、これは、道内の高等学校商業科教員全体の約18%、つまり、概ね5～6人に1人を占めるにいたっております。

昨今は、主に普通科高校を卒業した学生のニーズに応じて、公民科の免許状を取得する学生の比率が高まっています。この数年、公民科の教員採用は狭き門となっていますが、公民科免許状を取得しておく、後に、科目履修等の機会を得て地歴科の免許状を取得することなどにより、高校地歴科はもとより中学校社会科教員への道を開くことも可能となります。

現在、教職課程の受講者は4年生が11名、3年生以下が約20名となってい



教育実習II～教育実習に向けての事前準備～

ます。4年生は、この10月までに全員が所定の科目を修得して、教育実習を体験したところですが、その多くが先生と呼ばれることにためらいを覚えつつも、創意・工夫を活かした実習を行い、終了日には高校生から花束や色紙等をプレゼントされるなど、「感動の涙と充実した思い出」を胸に大学に戻ってきています。

そのため、本年度は多くの高校から北海商科大学の教育実習生は優秀であると高い評価をいただいているところです。

教員採用においても、アジアの時代にアジアを学んだ高校教員への要請は高まっていくものと考えられます。

これからも、「次代を担う人材を教えることに喜びを感じる人、生涯にわたり若者とともに学び続ける意欲のある人」はもとより、教育のしくみや方法・心理などに興味・関心を持つ学生には、ぜひ、大学時代にしか成すことのできない教職課程を履修し、広い視野に立って、人間的な成長を図ってもらいたいと願っています。

2009北海商科祭 photo gallery



INFORMATION..
お知らせ1

学内にAED設置

「AED・自動体外式除細動器」(赤いケースが目印)が、1階事務室に設置されました。

一般的にはまだあまり馴染みのないものですが、簡単に言えば突然心停止状態に陥った時、心臓に電気ショックを与えて、正常な状態に戻す医療機器です。コンピューターを内蔵し、電極を胸に貼ると心電図を自動的に解析し、心室細動か否かを判断し、機械が電気

ショック(通電)を指示します。

簡単に扱う事ができ、専門の医療従事者がいない場合でも迅速な救命活動が可能になりました。心肺蘇生法などと組み合わせ、身近なところで「AEDで救命!」のニュースが伝わってきていますので、是非設置場所を確かめて下さい。



事務室に設置されたAED機器

課外活動など健康管理には充分注意しながら、今後の日程については常にホームページで確認してください。

INFORMATION..
お知らせ2

行事予定

新型インフルエンザの流行にともない、本学ではこの罹患拡大防止対策などを行っています。2010年度入学試験は特別措置として追試験を実施します。冬季休業も含め、学習、就職活動、

今後の行事予定(2009年12月1日現在)

2009年		2/10(金)	成績・採点異議申し立て受付終了
12/24(木)	振替講義日(月曜日分)	2/12(金)	一般入学試験準備日
12/25(金)	冬季休業開始	2/13(土)	一般入学試験
2010年		2/20(金)	一般入学試験新型インフルエンザ罹患患者追試験
1/9(日)	冬季休業終了	2月中	学内業界研究会
1/12(日)	講義再開	3/1(日)	卒業生発表
1/16(日)・17(日)	大学入試センター試験	3/18(日)	卒業式、卒業祝賀会
1/30(日)	卒業論文提出期限(4年次)	3/24(日)	新4年次ガイダンス
1/30(日)・31(日)	大学入試センター試験追試験	3/25(日)	新3年次ガイダンス
2/3(日)	振替講義日(月曜日分)、後期講義終了	3/26(日)	新2年次ガイダンス
2/6(日)	後期成績開示開始/成績・採点異議申し立て受付	3/29(日)・30(日)	新4年次履修登録

REPORT.....
報告8

ハINAS論集刊行される

『北東アジア地域協調体制の課題』

●西川 博史・谷 源洋・凌 星光 編著
2009年8月30日刊/現代資料出版/定価3,500円
ISBN978-4-87785-203-0



HINAS(ハINAS)設立10周年を記念した『北東アジア地域協調体制の課題』が8月末に刊行されました。本書は、今年(2009年)3月に開催されたHINAS10周年記念国際シンポジウム「北東アジア地域協力の将来」における報告論文を基本に取り纏められており、基調報告「北東アジア地域における協力的体制」、第1部「東ア

ジアの戦略的位置」、第2部「日中協力体制構築の課題」、第3部「日本・中国・ベトナム」の三部構成(全21編の論文)となっています。執筆者は、HINAS研究員(北海商科大学教授陣)のほか、中国社会科学院の研究者を中心に、これまでHINASの共同研究・会議などに協力していただいた方々(全21名)です。近年、「東アジア共同体」形成への期待が高まりつつありますが、本書はそうしたグローバル化の進む世界情勢を前提に、北東アジア地域の経済・社会構造の特質を多方面から分析し、この地域に必要な経済的・技術的・文化的協力的体制構築の可能性を追求しています。なお、本書は、平成16年度～平成20年度学術研究高度化推進事業「学術フロンティア推進事業」(人文・社会部門)における研究成果の一つでもあります。

聴講生に聞く インタビュー ●前田 喜久さん(札幌市中央区在住)

もうずいぶん前ですが、北海学園大学の市民対象の学習講座に参加したのがきっかけで、その時の講師細見先生という方と7、8人のグループで毎週時事問題などの勉強会をしていました。ディスカッションが好きで、お話をすると見聞きしたことが更に自分のものになり面白くて。こちらの講座を知り、学びたい欲がまた湧いてきて参加するようになりました。

1935年頃、夫の仕事が電力関係で、戦中の上海に転勤になり家族で暮らしていました。その後、当時の満州の新京(現・長春)で夫が戦争に招集され、3歳の息子と生きて帰ろうと、必死に



なり引き揚げてきました。10年くらいの中国の生活でした。戦争はもう嫌ですが、中国は思い出深い国です。

公開講座は中国、アジア中心の内容ですが、国際問題にもつながったり、疑問がわいてきたりと実りが多いです。帰宅すると、必ず夫に講座の内容を話

REPORT.....
報告7

著者に聞く

『グローバリゼーション・新たなる不透明性・批判理論』

●横田 榮一 教授 著

2009年9月30日刊/共同文化社/定価3,150円
ISBN978-4-87739-169-0



——本書は主にここ二年半の間に書かれた草稿がもとになっている。この年月の間に、というより、それ以前からそうだったが、理論的にも、新自由主義の破綻がますます目に見えるようになってきたように思われる。——

(「あとがき」より)
と書かれているように、横田榮一教授は今日の新自由主義的グローバリゼーションにまといついていると思われる「新たなる不透明性」という問題を本書の主題の一つにしている。

第二次世界大戦後、日本においては高度経済成長を成し遂げてきた1970年代、世界の潮流としてのフォーディズム、その批判としてあらわれた新しい社会運動・新自由主義の並立から、今日の新自由主義的グローバリゼーションへと続く市場原理主義による世界のありよう、国家社会の検証を、言語哲学を組み込んだ社会理論の立場から表した著作である。

戦前、戦後のドイツの伝統的理論であるフランクフルト学派のアドルノ、ホルクハイマーやその後継であるハー

バーマスらが、新しい社会運動を推進していく「批判の潜在力、批判的エネルギー」を根底にした『批判理論』を展開、その再読を通じて、同じ社会国家内で生じる社会国家に対する異なる立場の批判が区別しにくくなっている状況を、「新たなる不透明性」と論じている。

——1970年代後半から、世界はそれまでとは別の世界に入り込だ。新自由主義という妖怪が世界を席卷し、市場原理主義を掲げて、世界の民衆の生活世界に襲いかかり、それを破壊しつつある。新自由主義は人間のもっとも基本的な生活条件さえ、市場化しようとするのであるから、人間のもっとも基本的な生活条件の領域を「強い」ものが勝ち、弱いものが負ける世界へと変換する——(「はじめに」より)

けれども、横田教授は、そのことへの批判の眼差しさえも取り込まれてしまうような、新自由主義的グローバリゼーションの不透明性の解剖を試みている。

今後、本書の姉妹編として「ハーバーマス理論の変換」(梓出版社)が発刊予定である。



横田榮一教授 北海道大学文学部を経て、1980年同大学大学院文学研究科博士課程満期退学、現在本学商学部教授

INFORMATION..
お知らせ3

公開講座が開講される

本年度後期公開講座は、「東アジアの社会変動と文化」のテーマで既に全5回中4回が実施されました。平成19年度前期のテーマ「新しいアジアの展望」から始まり、東アジアのグローバ

ルな問題を多元的な角度から取り上げ、毎回多くの市民の方に参加いただき好評を得ております。今回、初回公開講座から参加していただいている前田喜久さんに本講座の感想を伺いました。



2009年度後期 公開講座ポスター



第4回公開講座講師・王敏教授

日程と内容(時間は10:30~12:30)

第1回 10月17日(土)	「東アジアの流通事情」 西島 博樹 「中国式都市化戦略」 伊藤 昭男
第2回 10月31日(土)	「中国人から見た北海道観光」 郭 鳳英 「建国60年の中国」 西川 博史
第3回 11月14日(土)	「日本大衆文化と東アジア」 水野 俊平 「韓国経済と社会」 李 炯直

第4回 11月28日(土)	「日中の文化交流」 王 敏
第5回 12月5日(土)	「中国の農村社会」 魏 蔚 「ニュージーランドと東アジア」 グラハム・ハード

北海学園北東アジア研究交流センター(ハINAS)

TEL.011-841-1108 FAX.011-841-1109
Eメール hinas@hokkai.ac.jp
ホームページ http://www.hokkai.ac.jp/hinas/

すことで復習しています。中国やアジアのことが新聞に掲載されると切り抜きをしたりします。思いが広がるような気がします。

先生方には一般市民と接触しようという熱心さを感じますし、今度生まれ変わったら大学の先生になりたいと、そう思うほどです。前にもお話しし

ましたが、このような先生方に教わる学生の皆さんは幸せですね。学びの姿勢と健康を大事に頑張ってください。

訂正とお詫びのお知らせ

前号(vol.06)6面、報告10「キャンパスベンチャーグランプリ2008」の記事中受賞者名「福岡大輝」君は「藤岡大輝」君の誤りです。訂正するとともにお詫びいたします。